硝酸塩の溶解度(第11報)

硝酸アンモニウム-塩化アンモニウム-水系および塩化ナトリウム-(硝酸ナトリウムまたは塩化アンモニウム)-水3成分系の相平衡

原 泰毅*, 秋吉紀子*, 繩椎尚子*, 中村英嗣*

互変二対塩である硝酸アンモニウム-塩化ナトリウム-水系の平衡状態図を作成するために必要な3種の3成分系状態図を残留法によって作成した。

-20°~60℃における硝酸アンモニウム-塩化アンモニウム-水 3 成分系の状態図を作成し、3 成分共験組成(wt%)としてNH₄NO₃ 27.1, NH₄Cl 12.8, H₂O 60.1を得, 共験温度は -22.3℃であった。

次に、 -20° ~40℃における硝酸ナトリウム-塩化ナトリウム-水の系と、塩化アンモニウム-塩化ナトリウム-水の2つの3成分系について同様な実験を行った。前者の3成分共般組成は NaNO $_3$ 19.6、NaCl 16.4、 H_2 O 64.0で、共融温度は-23.3℃であった。後者については、共船組成が NH_4 Cl 7.9、NaCl 19.1、 H_2 O 73.0で、共融温度は-24.5℃であった。

これらの系で存在する固相は、0.1 \mathbb{C} 以下の温度 11 で塩化ナトリウムのみが2 水塩(NaCl·2 H_2O) として安定であり、他の塩の含水塩や複塩の存在は認められなかった。

1. 緒 宮

硝酸アンモニウム(以下ANと略記)系爆薬には、その用途に応じて種々の酸化剤や鋭感剤が用いられている。炭鉱爆薬には発破の際のメタンガスや炭じんへの 着火を抑制するために、波熱消炎剤として塩化ナトリウム(以下SCと略記)が加えられる。

現在は、これらの系に水を加えた安全な爆薬が使用されているが、この含水爆薬やエマルション爆薬の貯蔵安定性、特に、低温における結晶析出による特性の変化などが問題となる。本研究はAN-SC-水4成分系の相互溶解度を理解するための相平衡状態図を作成するために必要な3成分系状態図の作成を目的としたものである。

上記の4成分系状態図を作成するためには、次の4 つの系の3成分系等温不変点の組成が必要である。

- (A) NH₄NO₃—NaNO₃—H₂O
- (B) NH₄NO₃-NH₄Cl-H₂O
- (C) NaNO₃—NaCl—H₂O
- (D) NH₄Cl—NaCl—H₂O

1990年 4 月13日受理

*九州工業大学工学部応用化学教室 〒804 北九州市戸畑区仙水町 1-1 TEL 093-871-1931 内線446 (A)の系については、すでに完成して報告³¹した。(B) の系に関しては主として Prutton らの報告³¹および Pavlov らの報告⁴¹があるが、前者は 0 ℃以上の温度のデータのみで低温領域のデータがなく、後者は一部の 溶解度曲線が交錯したりして不完全である。(C)の系については 0 ℃以上の温度におけるデータ⁵¹が、主としてCornec ら⁵¹によって報告されている。 さらに、25 でから共融温度までの詳細なデータが Khitrova⁷¹によって報告されている。の)の系については-10 ℃以上の温度におけるデータが Jartykoff⁸¹によって報告されている。

本研究では、(B)~D)の系の40℃および-10℃における測定結果を重点的に報告し、上記の文献では不充分であると思われる温度範囲のデータと3成分共融点のデータを補促した。

2. 実 験

2.1 試 翠

AN, SC, NH,Cl(以下ACと略記)およびNaNO。 (以下SNと略記)はいずれも市阪の特級試薬を水で再 結晶して用いた。

2.2 状態図の作成

3つの3成分系の状態図はいずれも残留法がによって作成した。すなわち、各種の塩あるいはその混合物が液底体として存在するような種々の組成の混合物を

作り、ときどきふりまぜならがら恒温槽中に4時間以上放倒し、飽和溶液および固相を含む溶液とを分析する方法である。3成分系共融温度の決定には冷却曲線 法を用いた。

残留法における各塩の濃度は NH_4 +イオン濃度をNaOH溶液を用いた導電率滴定法, NO_3 -イオン濃度を分光々度法 $(301\,nm)^{10}$ およびNa+イオン濃度を原子吸光法 $(330.\,23\,nm)$ によって測定して求めた。いずれの系においても,水分量は全量と全塩量との差として求めた。

3. 結果および考察

3.1 AN-AC-水 3 成分系の平衡

AN-AC-水3成分系の平衡状態における飽和溶液 および固相を含む溶液の組成を重量%でTable 1 に示した。上に述べたように、この系に関して報告されたデータはPruttonらがによるものとPavlovらがによるものとがある。前者は0.4°、25°、50℃における測定値で、後者には低温領域のデータも含まれているが完全なものではない。従って、本実験の目的である40℃およびー10℃のデータと、等温不変点の組成が著者らのものと3%以上の異いが見られるー20℃の値を示した。

この中から-10℃における状態図をFig.1 に示した。図中の白丸は飽和溶液の組成を、黒丸は固相を含

Table 1 Solubility data for the ternary system NH₄NO₃ - NH₄Cl - H₂O

Temp	Liquid phase(Wt.%)			Wet solid phase(Wt.%)			Call dalland
	NH ₄ NO ₃	NH ₄ Cl	H ₂ O	NH ₄ NO ₃	NH ₄ Cl	H ₂ O	 Solid phase*
40	0	32.0	68.0		•••	•••	AC
	12.8	27.1	60. 1	6.3	63.6	30.1	AC
	23.8	23.2	53. 1	14.7	56.3	29.0	AC
	38.7	17.7	43.7	22.9	51.5	25.6	AC
	65.3	10.0	24.8	59.2	33.0	7.8	AC+AN
	68. 1	5.5	26.4	74.2	5. 1	20.7	AN
	72.3	0	27.7				AN
- 10	0	21.0	79.0			•••	AC
	14.5	17.1	68.5	8.0	52.3	39.7	AC
	29.8	12.9	57.3	16.8	49.2	34.0	AC
	37.0	10.4	52.6	32.8	39.7	27.5	AC+AN
	40.8	4.6	54.6	65.3	3.2	31.5	AN
	44.2	0	55.8		•••		AN
	0	10.7	89.3		•••		H ₂ O
	6.7	8.9	84.4	5. 1	6.6	88.4	H ₂ O
	14.0	5.1	80.9	8.3	3.2	88.5	H₂O
	24.6	0	75.4	•	•••	•••	H ₂ O
- 20	14.9	15.3	69.9	9.1	48.9	42.0	AC
	22.4	13.0	64.9	13.3	45.9	40.8	AC
	11.7	16.0	72.4	3.2	22.6	74.2	AC+H ₂ O
	29.3	11.2	59.5	21.1	43.4	35.5	AC+AN
	29.8	10.9	59.4	23.4	43.9	32.7	AC+AN
	33.2	6.4	60.3	71.0	2.7	26.3	AN
	34.3	5.4	60.3	41.8	3. 1	55.1	AN+H ₂ O
	27.4	8.5	64.0	19.5	6.0	74.5	H_2O
	20.5	11.9	67.7	15. 1	9.6	75.3	H_2O

^{*}AC;NH₄Cl, AN;NH₄NO₃

Invariant point data for the ternary system of NH₄NO₃-NH₄Cl - H₂O

Temperatur: -22.3℃

Composition (Wt.%); NH₄NO₃ 27.1, NH₄Cl 12.8, H₂O 60.1

む溶液の組成を示す。両者が平衡状態にあり、2つの 点を結ぶ対応線と三角形の交点がその溶液と平衡にあ る固相を示す。これらをTable 1の最後の列にまとめ た。上記の2つの点を結ぶ対応線は三角形の頂点A、 BおよびCに集まるので、この系に存在する固相は氷、 ACおよびANである。 この系の種々の温度における溶解度曲線をFig.2に示した。この図には著者らが測定した全データをプロットした。3 種の等温不変点を結ぶ曲線(破線)の交点より3成分共融組成を予測し、冷却曲線法によって決定した。その結果、共融組成はAN 27.1、AC 12.8、 H_2O 60.1(wt%)で、共融温度は-22.3でであっ

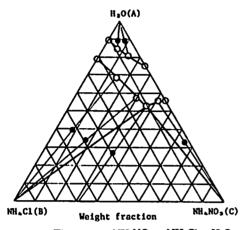


Fig. 1 The system $NH_4NO_3 - NH_4Cl - H_2O$ at -10°C

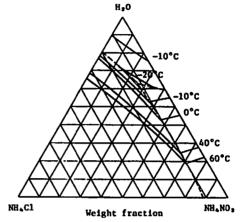


Fig. 2 Solubility polytherm of the system NH₄NO₃ – NH₄Cl – H₂O

Table 2 Solubility data for the ternary system NaNO₃ - NaCl - H₂O

Temp -	Liquid phase(Wt.%)			Wet solid phase(Wt.%)			0 11 1
	NaCl	NaNO ₃	H ₂ O	NaCl	NaNO ₃	H₂O	 Solid phase
40	0	51.5	48.5	•••			SN*
	6.3	45.0	48.7	2.5	79.4	18.1	SN
	9.2	41.1	49.7	7.2	76.3	16.5	SN+SC*
	10.6	38.6	50.8	56.6	18.7	24.7	SC
	14.2	29. 1	56.7	58.5	13.9	27.6	SC
	17.6	20. 1	62.3	65.0	8.4	26.6	SC
	21.5	10.6	67.9	66.8	4.6	28.6	SC
	27.1	0	72.9		***		SC
- 10	0	20.0	80.0	•••	•••		H ₂ O
	4.0	14.0	82.0	3.5	11.0	85.5	H₂O
	9.2	6.7	84.1	7.0	5.7	87.3	H₂O
	12.7	0	87.3	•••	•••		H₂O
	0	40. 1	59.9	•••	•••		SN
	4.9	33.9	61.2	2.4	66.3	31.3	SN
	11.2	26.5	62.3	4.3	69.4	26.3	SN
	17.5	20.3	62.2	15. 7	60.3	24.0	SN+SCH'
	19.5	14.2	66.3	21.9	13.4	64.7	SCH
	20.9	8.6	70.5	23.1	8.1	68.8	SCH
	25.2	0	74.8	•••		•••	SCH

^{*}SN; NaNO₃, SC; NaCl, SCH; NaCl·2H₂O

Invariant point data for the ternary system of NaNO₃ - NaCl - H₂O

Temperatur; - 23.3℃

Composition (Wt.%); NaNO₃ 19.6, NaCl 16.4, H₂O 64.0

た。先に述べたPavlovら¹¹の結果は夫々27.0, 11.4, 61.1%と-22℃である。

3.2 SN-SC-水 3 成分系の平衡

先に述べたように、この系に関するデータは比較的 多くの研究者によって報告^{51~71}されているので、4成 分系の作図を計画した40℃および-10℃の結果だけを Table 2に示し、Fig.3およびFig.4に図示した。

40℃においては、対応線は三角形の頂点BおよびCに集まるので、この温度で存在する固相はSNおよびSCである。一方、-10℃においては頂点AおよびBと辺AC上の一点に集まり、存在する固相は氷およびSNとSCの2水塩(SC 61.9%, H_2O 38.1%, 以下SCHと略記)である。Khitrova⁷によるSC-水2成分系平衡状態図によると、包晶点が0.15℃で、この温度以下での安定な固相は氷とSCHであるから、3成分系においても約0℃以下ではSCHとなる。等温不変点の租成はTable 2 の3行目と16行目の租成であり、

40℃のLeather ら¹¹¹の値(SN 37.8, SC 11.1, H₂O 51.1%)とは少し異なり、-10℃のKhitrova⁷¹の値(SN 21, SC 16.5, H₂O 62.5%)とは類似している。

40℃および-10℃以外の詳細なデータは省略したが、 額々の温度で測定した溶解度曲線をFig.5 に示した。 前項と同様にして3成分共融点を決定し、共融組成と してSN 19.6, SC 16.4, H_2O 64.0%を得、共融温 度は-23.3で、先の $Khitrova^7$ の-24.4でより少し 高い結果を得た。

3.3 AC-SC-水 3 成分系の平衡

AC-SC-水3成分系の平衡状態における溶解度データをTable 3 に示し、この中から-10℃における状態図をFig.6 に示した。この系における固相は前項と同様に氷と1種の塩(AC)と1種の含水塩(SCH)であることがわかる。Fig.7 には種々の温度における溶解度曲線を示した。40℃における等温不変点が他の温度のものとかけはなれた点にあるのは、SCの固

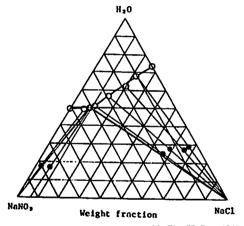


Fig. 3 The system NaNO₃ -NaCl-H₂O at40°C

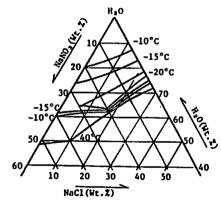


Fig. 5 Solubility polytherm of the system NaNO₃ -NaCl -H₂O

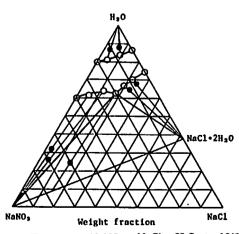


Fig. 4 The system NaNO₃ -NaCl -H₂O at -10°C

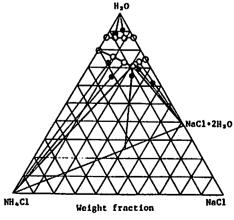


Fig. 6 The system NH₄ Cl-NaCl -H₂O at -10°C

Table 3 Solubility data for the ternary system NH₄Cl - NaCl - H₂O

Temp -	Liquid phase(Wt.%)			Wet solid phase(Wt.%)			C-11.41
	NaCl	NH ₄ Cl	H ₂ O	NaCl	NH ₄ Cl	H₂O	 Solid phase'
40	0	31.8	68.2				AC*
	7.3	25.0	67.7	5.4	43.2	51.4	AC
	14. i	20.4	65.5	28.6	17.4	54.0	AC+SC*
	17.6	14.1	68.3	40.9	9.8	49.3	SC
	21.1	8.7	70.2	38.6	6.4	55.0	SC
	27.1	0	72.9	•••		•••	SC
- 10	0	12.6	87.4		• • •		H ₂ O
	4. 1	9.2	86.7	3.6	8.2	88.2	H₂O
	9.4	4.3	86.3	6.3	2.9	90.8	H ₂ O
	12.7	0	87.3	•••			H ₂ O
	0	20.5	79.5				AC
	9.1	14.8	76. 1	8.9	18.2	72.9	AC
	15.3	11.8	72.9	13.7	21.2	65.1	AC
	20.6	8.6	70.8	22.7	10.9	66.4	AC+SCH
	20.9	7.6	71.5	23.3	7.2	69.5	SCH
	23.0	4.3	72.7	25.4	4. 1	70.5	SCH
	25.2	0	74.8	•••	•••	***	SCH
- 15	0	15.6	84.4				H ₂ O
	5.0	12.3	82.7	4.5	11.2	84.3	H ₂ O
	10.2	7.2	82.6	9.3	6.5	84.2	H₂O
	16.8	0	83.2			•••	H ₂ O
	0	20.0	80.0		•••	•••	AC
	9.0	14.1	76.9	8.0	25.3	66.7	AC
	15.1	11.0	73.9	13.2	22.7	64.1	AC
	20.1	8.5	71.4	20.3	11.2	68.5	AC+SCH
	22.7	3.5	73.8	24.1	3.3	72.6	SCH
	24.3	0	75.7	•••		•••	SCH
- 20	21.6	0	78.4			•••	H ₂ O
	17.4	4.5	78 . 1	16.3	4.2	79.5	H ₂ O
	14.1	8.0	77.9	13.5	7.7	78.8	H₂O
	11.9	10.2	77.9	10.6	9.1	80.3	H ₂ O
	6.7	14.4	78.9	4.0	13.4	82.6	H ₂ O+AC
	11.3	12.1	76.6	- 10.3	17.9	71.8	AC
	17.1	9.9	73.0	15.9	16.3	67.8	AC
	19.7	8.3	72.0	26.4	9.6	64.0	AC+SCH
	21.0	5.7	73.3	25.9	4.6	69.5	SCH
	22.3	3.0	74.7	27.3	2.6	70.1	SCH
	23.2	0	76.8				SCH

*AC : NH₄Cl , SC : NaCl · SCH : NaCl · $2H_2O$

Invariant point data for the ternary system of NH₄Cl - NaCl - H₂O

Temperature: -24.5°

 $Composition(Wt.\%) \; ; \; NH_4Cl \quad 7.9, \; \; NaCl \quad 19.1, \; \; H_2O \quad 73.0$

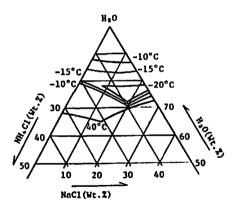


Fig. 7 Solubility polytherm of the system NH₄Cl -NaCl -H₂O

相が40℃では無水塩、0℃以下では2水塩となっているからである。この系の3成分共融点は、SC 19.1, AC 7.9, H₂O 73.0%, -24.5℃であった。

4. 结 输

AN-AC- 本 3 成分系の状態図を60℃から共融温度までの温度範囲で作成し、SH-SC- 木およびAC-SC- 木の2つの3 成分系については40℃から共融温度までの範囲で状態図を作成した。

これらの系においては、0℃以下の温度でSCが2 水塩を作るほか、その他の複塩、固溶体あるいは含水 塩は認められなかった。

女 献

- W. F. Linke, "Solubilities of Inorganic and Metalorganic Compounds", vol. 2, American Chemical Society (1965) p 958
- 中村英嗣,原 泰毅,長田英世,工菜火菜,43,63 (1982)
- C. F. Prutton, J. C. Brosheer and S. H. Maron, J. Am. Chem. Soc., 57, 1656 (1935)
- B. A. Pavlov, N. A. Butovich and A. G. Bergmann, Compt. Rend. Akad. Sci. URSS, 39, 265 (1943)
- W. F. Linke, "Solubilities of Inorganic and Metalorganic Compounds", vol. 2, American Chemical Society (1965) p 976
- 6) E. Cornec and A. Chretien, Caliche, 6, 358 (1924)
- N. N. Khitrova, Zh. Prikl. Khim., 27, 1281 (1954)
- 8) M. M. Jarlykoff, ibid., 7, 902 (1934)
- 9) 中森一陂,"近代工業化学13無機工業化学", 朝倉 書店 (1970) p 199
- 10) 浜口 樽, 黒田六郎, 遠藤伯也, 分析化学, 7, 409 (1958)
- J. W. Mukerji, Mem. Dept. Agr. India. Chem. Ser., 3, 177 (1913)

Solubilities of Some Nitrates in Aqueous Solution (XI)

The Ternary Systems NH₄NO₃-NH₄Cl-H₂O and NaCl-(NaNO₃ or NH₄Cl)-H₂O

by Yasutake HARA*, Noriko AKIYOSHI*, Naoko NAWACHI* and Hidetsugu NAKAMURA*

The phase diagram for the ternary system ammonium nitrate (AN)-ammonium chloride (AC)-water was determined from $60\,^{\circ}\mathrm{C}$ to the melting point. The ternary eutectic temperature, measured for a mixture containing 27.1, 12.8 and 60.1 wt. % of AN, AC and H_2O respectively was found to be $-22.3\,^{\circ}\mathrm{C}$

For the ternary system sodium nitrate (SN)-sodium chloride (SC) -water and AC-SC-water, the phase diagrams were also determind in the temperature range of 40 °C to melting point. The ternary eutectic compositions and temperatures were found to be SN 19.6, SC 16.4, H_2O 64.0, wt. % -23.3 °C for the former and AC 7.9, SC 19.1, H_2O 73.0 wt. %, -24.5 °C for the latter respectively.

The results indicated no complex salt, solid solution, or hydrate formation except NaCl \cdot 2H₂O at the temperature below about 0 \circ C.

(*Department of Applied Chemistry, Faculty of Engineering, Kyushu Institute of Technology, Sensui-machi, Tobata-ku, Kitakyushu-shi, Japan)